



安心とつながるおのり下町「川の手」をめぐりて

防災まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

平成12年9月15日

いちてらこととい
一寺言問／防災まちづくり瓦版
編集／一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行／一寺言問を防災のまちにする会
代表 則武 勝商
連絡先／墨田区まちづくり推進課内
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6267

タツキーこと滝沢秀明君が主役で、鳩のまち商店街をロケ地にした「太陽は沈まない」というドラマも好評の内に終了しました。お母さん役の竹下景子さんの役柄が、私たちのまちの雰囲気にとりついたりしていたことも好評の一因でしょうか。



鳩のまちでの撮影風景

で検討しています。
○全国に発信するこれまでの取り組みの整理・抽出、
○密集市街地の街づくりの指針、施策、課題等
また、若い人たちを中心として、私たちのまちへの関心も高まっています。
五月には、地藏坂通りの空き地等を利用した「陶器ネットワーク」が開催されました。大学生や留学生達が用意した、路地のお絵描き、ハーブティーづくり等、まちの皆さんとともに楽しめた様々なイベントが繰り広げられました。

八月九日には、東アジアの大学生が集う「AEARU学生キャンプ」の見学会があり、韓国、中国、香港、台湾、日本の約七十名の若者が訪れました。

さらに、十月十四日から二三日まで、「人と環境にやさしいまちづくり」をテーマに「2000 向島博覧会」というイベントが開催されます。

会場は、一寺言問集会所や地藏坂通りの空き地を中心として、様々なイベントが予定され、すみだ生涯学習センターでも向島の明日を考える連続シンポジウムが開かれます。
特に、鳩のまち出身の木の實ナナさんを迎えて、区長さんと「人と環境にやさしい向島」について語り合うファイナルイベントが、十月二三日に開かれます。乞うご期待！

一寺言問は歩いて暮らせる街

この構想は、国の経済対策関係会議で決められた経済新生対策の一環として左記のように位置づけられました。

- 一、地域の様々な工夫や発想を源泉に、
 - 二、生活の諸機能がコンパクトに集まり身近に就業場所のあるバリアフリーのまちにおいて、
 - 三、幅広い世代が交流し、助け合うことを通じ、
 - 四、身近な場所での充実した生活を可能とするとともに、
 - 五、これからの本格的な少子・高齢社会に対応した安心、安全でゆとりのある生活を実現しようとする試みである。
- 私達のまちは、この構想が理想としている「まち」に近いと認められたのでしよう。現在、この構想を推進するため、左記のようなことを、住民が中心となった委員会



向島ネットワークの様子

向島博覧会の主なプログラム

(一言地区内・近隣のイベント、SGCMは「すみだ生涯学習センターマスターホール」の略)

- ☆オープニングパーティー
10/14 17:00～19:00
地藏坂通り+塚本紙器跡地
- ☆向島とオッテンゼン(トイ)の共同写真展・共同作品展
10/13～/22
すみだ生涯学習センターイベントホール
- ☆向島ちびっ子ラジオ放送局
(ミニFM向島プロジェクト)
10/14～/23 一寺言問集会所及びその周辺
- ☆人と環境にやさしいコミュニティアート展
期間中 塚本紙器跡地他
- ☆アートファクトリーの実験
期間中 東向島一丁目・元燃糸工場
- ☆アーティスト・イン・空き家の実験
期間中 東向島三丁目空き家
- ☆向島とオッテンゼンの交流映画上映会
10/15 14:00～16:00 (参加費500円)
すみだ生涯学習センター視聴覚室
- ☆向島の20世紀を検証するシンポジウム
-向島の生活史や行政の変遷等をひもとく-
10/16 14:00～16:00 SGCM
- ☆歩いて暮らせる街づくりシンポジウム
-空地・空家を活用した地域の活性化を考える-
パート1 10/17 18:00～20:30
パート2 10/21 15:00～17:00 資料代 500円 SGCM
- ☆安心の住まいづくりワークショップ
-少子・高齢社会の向島にふさわしい共同住宅-
10/18 18:00～20:30 一寺言問集会所
- ☆向島の町会活動シンポジウム
-21世紀の高齢社会での町会活動を展望する-
10/20 14:00～16:00 SGCM
- ☆快適な都市空間をつくるシンポジウム
10/20 18:00～20:30 SGCM
- ☆向島の子育て活動シンポジウム
-子どもが元気に育つ地域社会に向けて-
10/22 13:30～17:00
すみだ生涯学習センター和室
- ☆セッション「民俗学から見た向島」
10/22 14:00～16:00 一寺言問集会所
- ☆ファイナルイベント
木の実ナナを迎えて「人と環境にやさしい向島」
10/23 18:30～20:30
曳舟文化センター大ホール

「人と環境にやさしいコミュニティアート展」に参加しませんか。主催者からのご案内です。

コミュニケーションガーデン(仮)のご案内
塚本紙器跡の空き地をみんなの庭にしてみませんか?
参加者には1人1m角の敷地で庭を造ってもらいます。
参加者が増えれば増えるほど、そこはただのアスファルトから庭園へと変化し、みんなが集う場としても機能するでしょう。
詳細は後に空き地前に張り出します。

この記事の標題は、一言会副会長 徳永さん

